

「草加市の明日の保育を考える市長懇談会」資料

2011年11月12日

草加市長 田中和明 様

草加市保育園父母会連合会 会長 高山 幸一郎

田中市長におかれましては、日頃より草加市の子育て環境向上のためにご尽力をいただき、誠にありがとうございます。またこのたびは、草加市のよりよい保育を考えるための市長懇談会を開催していただき、誠にありがとうございます。

今年度におきましては、新たに4園プラス1分園の新設認可保育園がスタートし、待機児童数が着実に減少しています。来年度も2園の新設が予定されており、私たち市民は大いに期待しているところです。

今年度も父母連は、約1700の保育園世帯にアンケートを実施し、よりよい保育を望む多くの保護者の声をあつめています。また毎月の各園父母会による代表者会にて、様々な要望や意見を吸い上げてきました。それらを下記にまとめ、市長懇談会の資料とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

記

<待機児童対策について>

- ①2011年11月現在、草加市では待機児童数が378人となっており、私たち父母連は引き続き待機児童対策が最重要課題であると認識しています。来年度も新たに2園の新設民間認可保育園がスタートすることとなっていますが、これら2園の新設に関しての進捗状況と今後の見通しについてお聞かせください。
- ②一連の待機児童対策により、2012年度新設の2園（合計定員180人）が加わると、4月時点での待機児（2011年4月時点で188人）が数字上はほぼ解消されることとなりますが、周知の通り待機児童の約8割は0~2歳児であり、実質的な待機児解消とはならないと思われまふ。来年度以降の年齢別の待機児や定員弾力化の解消が具体的にどの程度見込まれるのか、市としての試算をお聞かせください。

<質の高い草加の保育の維持・向上について>

- ①私たち保護者は、草加市が誇ってきた質の高い保育内容をとても感謝し、また草加で子育てできることを誇りに感じてきました。今後とも草加の誇れる保育内容をさらに維持・向上させていただきたいと思っています。公立の保育士の先生方は、これまでも人事交流や保育年齢別の研修会・学習会を行うことで保育内容の充実を図ってきました。一方ここ数年で増えてきている民間認可保育園についてはそうした研修の機会がどのように保障されているのか、父母連としては把握しきれしていません。民間認可保育園の保育士の研修の現状についてお聞かせください。
- ②2012年度の新設保育園2園を加えると、民間認可保育園が草加市内の認可保育園の約4割を占めることになり、これまで以上に民間認可保育園が私たち保護者の注目を集めています。今後も「草加で子育てをしたい」といえる保育にするためにも、公立・民間の垣根を越えて相互に実践を深めてもらうことが必要と考えています。そのためにはこれまで以上に公立と民間の合同研修や情報交換を行う場が不可欠です。とりわけ0歳児保育や育成保育については高い専門性と経験や知識が必要となるため、これまで公立保育園で培ったノウハウを民間保育園にも情報提供することで草加市の保育のボトムアップにつながると思われまふ。民間認可保育園との研修や情報交換の現状と今後の見通しについて、市の見解をお聞かせください。

<公立保育園における完全給食の全園実施にむけて>

草加市の公立保育園においては地元の商店から食材を仕入れ、自園直営方式で調理される素晴らしい給食が提供されています。おいしさや栄養バランスも考えられ、園児の健康増進に一役買っているばかりでなく、園で栽培した作物を給食に取り入れる等、食育の観点からの取組みも行われています。もちろんアレルギー食にも栄養士さんが細かに対応しています。事実、こうしたおいしくて安全な給食に関する

る保護者の満足度はアンケート調査の結果からも読み取れます。また今年度からは3歳児クラス以上での完全給食（主食の提供）が半数以上の園で実施され、特に夏場の衛生面から「安心だ」「良かった」との多くの声が寄せられています。

こうした評価の声がある一方、主食代の徴収方法については各園父母会から負担が大きいとの声が多く寄せられています。父母会による主食代徴収が物理的な負担となることはもちろん、保護者同士で未納の方から徴収しなければならないという担当者の精神的負担が指摘されています。事実、今年度完全給食導入を見送ったほとんどの園はこの「主食代徴収」が原因となっています。父母連としても、長年の要望項目であった完全給食の実施がスタートできたことは大いに感謝しているところですが、導入したくてもできないという園があることが非常に残念です。草加の認可保育園全園で完全給食が実施されるためにも、ぜひ市による主食代の徴収をお願いします。

<公立保育園の存続意義と今後の建て替え対応について>

- ①現在の草加市における公立保育園は、古い園舎においては老朽化が激しく、近い将来においては建て替え、移転が必要になるとみられています。草加市の公立保育園はこれまで他市や他県に誇れる、素晴らしい保育実践を積み上げてきました。公立園のノウハウや職員の指導力は草加市の宝と言えます。これらの保育実践を守りながら、民間認可保育園との実践交流で草加市全体の保育の質を高める意味でも、児童福祉法にある公的保育の役割、市町村の保育義務に照らしても、既存の公立保育園を閉園することはあってはならないと私たちは考えています。草加市として、公立保育園の存続意義についてどのように認識しているか、また老朽化に伴う保育園舎の建て替え・移転について今後の見通しをお聞かせください。
- ②特にやつか保育園については老朽化が激しく、一方で近隣に民間認可保育園が新設されました。前述の通り、公立保育園の果たす役割は大きく、また市民の期待も大変に大きいものがあります。ぜひ大規模補修による施設改善、もしくは近隣への移転による存続をお願いします。

<草加市における0歳児保育のあり方について>

- ①2011年11月現在において「休止状態」とされている「草加市における0歳児保育施設の整備方針」について、今後の取り扱いの見通しについてお聞かせください。またこの「整備方針」に基づいて行われる予定であった家庭保育室の更なる充実と公立保育園との連携について、これまでの取組みと今後の見通しについても併せてお聞かせください。
*園長・栄養士・看護師などによる巡回相談や相互の保育研修などの実施状況と今後の予定。
*サテライト方式で公立園の周囲に家庭保育室を設置していくことによる、家庭保育室の公立園行事への参加状況と今後の予定。
- ②公立保育園の0歳児保育における時間外保育・延長保育・土曜保育のニーズが保護者から寄せられています。これまでは家庭保育室においてそうした0歳児の長時間の保育が行われてきましたが、安全性確保や体調管理の面から公立保育園では時間外保育等は行われてきませんでした。近年、働き方がより多様になり、0歳児の親であっても働かざるを得ない現状があります。きょうだい公立保育園に通っている場合は、家庭保育室等との二重・三重送迎となるケースもあります。公立保育園における0歳児保育の時間外保育等について、今後の見通しをお聞かせください。

<草加市の保育施策や保育環境について>

- ①待機児童の多くは認可外保育施設を利用しています。同じ草加市の「保育に欠ける」子どもであり、これらの子どもたちの健康や安全について草加市が同等の援助をすべきことと考えます。認可外保育施設利用の児童に草加市の保育園が行っていると同様の医科歯科検診を市が行ってください。また、待機児童であって認可外保育室に入所している場合は、「草加市保育料の徴収に関する規則」を適用し、第二子減免措置等や草加市の保育料基準を上回る保護者負担については草加市が補填をする等の負担軽減策の検討をお願いします。
- ②草加市による「保育料の第二子減免措置」「第三子保育料無料化」に感謝申し上げます。しかしアンケートの結果、依然として、草加市の保育料を高いと感じている家庭が多く、要望の第1位として「保育料

の引き下げ」を望む声が多いのが現状です。またトータルの保護者負担は県内の自治体と比較してもまだまだ高額です。

ア. 特に保育料が高いという声の高い、0・1・2歳児の保育料について引き下げを検討してください。

イ. 保育料の支払が困難な世帯には「草加市保育料の減免実施基準」を積極的に適用してください。

③保育環境の安全と充実のために草加市の子どもたちが利用している認可外保育施設の実態を把握し、必要に応じて、監督、指導、あるいは現場スタッフへの研修を行い、認可外保育施設等を利用している子どもたちの安全で良質な保育が提供できるようにしてください。

④延長保育の全園実施の早期実現をお願いします。また、延長保育事業の進捗状況及び今後の方針について教えてください。

⑤2008年度4月よりスタートしました市の「送迎保育」は、延長保育未実施園の世帯や時期によって就業時間が変動する世帯にとっては、有効な施策として機能しています。今後も積極的な活用を促すための周知をお願いします。

⑥育成保育（障がい児保育）について、全園を対象に育成保育を実施して下さっていることに感謝しております。育成保育について、以下に要望をまとめました。

ア. 障がいや慢性疾患を持つ子どもは、療育や訓練、定期的な受診・受療など、保護者によらなければならないケアが必要であり、保護者の就労は事実上不可能な実態があります。入園申込にあたっては「草加市保育の実施に関する条例」の保育の実施基準（7）の適用、もしくは、就労予定や内職などでの特別枠での入園を検討してください。

イ. 2011年10月17日に行われた「子育て環境の充実とゆきとどいた教育を実現する予算要望に関する懇談会」において市側から「育成保育については希望があれば時間外保育・延長保育・土曜保育については受け入れている。必要であれば保育士の加配を行っている」との説明がありました。育成対象児についても、ぜひ時間外保育・延長保育・土曜保育の希望者全員の受け入れをお願いします。また時間外保育・延長保育・土曜保育が可能となるよう、必要な人的配置をお願いします。

ウ. 近隣5市で出資している障がい児療育施設「中川の郷療育センター」は、交通の便が良くない地域にあり、障がいのある子どもを連れて通所することが難しいという声が寄せられています。草加市内もしくは最寄駅からの直通バスを運行する等の利便性の向上をお願いします。

エ. 民間認可保育園では、現在育成保育は実施されていません。今後民間認可保育園が増え、草加市における民間保育園の役割が大きくなることに伴い、民間保育園における育成保育実施の検討をお願いします。

オ. ここ数年で、実に多様な障がいのある園児が育成保育対象児として入園してきています。受け入れは保護者にとって非常にありがたく思っていますが、一方で保育士の先生方が様々な障がいに関する専門的な知識を身につけるための研修はまだ十分とは言えない状況です。ぜひ障がいに関する保育士の専門研修をより充実させてください。

⑦安定した質の高い保育園職員の人材確保のためにも保育士・看護師・栄養士・調理師・技能員の採用はぜひ正規職員をお願いします。また現在、臨時職員の時給は950円と、命を育み守る職業に見合う賃金とは言えません。また、臨時職員の場合は正規職員と同じ仕事をしながら退職金が支給されません。賃金の低さが保育士や栄養士の確保を難しくしている大きな要因と考えますので、ぜひ賃金増や退職金支給を含めた臨時職員の待遇改善をお願いします。

⑧公立保育園では、定員の弾力化が一定程度改善され、より園児にきめ細かい対応ができるようになってきました。しかし依然として一人の保育士が受け持つ園児の数は非常に多く、特に幼児クラスでは十分に目が行き届かない場面もあるようです。ぜひ保育士配置の改善の検討をお願いします。

⑨草加市の優れた自園直営方式の給食は草加の宝物です。今後もぜひ自園直営方式を続けてください。

⑩現在国レベルで議論されている「子ども・子育て新システム」について、私たち保護者も高い関心をもって学んでいるところです。その中で私たちは、この「新システム」は現在の保育保障や保育の質の担保が危惧される制度であるとの認識をもっています。草加市においては、今後も子どもたちの保育を良くするために、情報収集を行いながら引き続き法案や予算の動向に高い関心をもっていただきたいと思います。

～以上～